

やぶき



令和3年
190号

議会だより

令和3年2月1日発行
第423回 臨時会
第424回 12月定例会



- 年頭のあいさつ p 2
- 12月定例会 p 3
 - 補正予算・賛否表・条例改正・質疑
- 町政を問う（8名登壇） p 7
- 研修・読者の声・人事 p16

大池公園

迎春

町民のみなさま、新年あけましておめでとうございます。昨年中は矢吹町議会に対する深いご理解とご協力を賜りまして、心から感謝を申し上げます。

昨年におきましては、新型コロナウイルスが日本はもとより、世界中に猛威を振るい、東京オリンピックの延期はもちろんのこと、世界中の方々の入国までも制限しなくてはならない程となりながらも日本を守る対策を続けていますが、本町においても、東日本大震災から10年目を迎え、やっと復興が見え始めた中での今回のコロナ禍により、様々な事業を自粛せざるを得ず、町の賑わいも奪われ、本心に心配であります。

昨年は蛭田町長が町民のみなさまから4年間の矢吹町の舵取りを任され、我々議会も3月の改選により新体制で蛭田町長とともに、より良い矢吹町の実現へ向け一丸となり、まちづくりを進めていくとした矢先の出来事でありました。

今年にはワクチンの接種も始まるのであります。一日も早く

町民のみなさまに笑顔が戻ってくることを願っております。現



在のところ、昨年行われなかった東京オリンピック・パラリンピックも50年ぶりに開催される見通しであり、また聖火リレーについても、規模を縮小しながらも福島県からスタートする計画でありますので、今から楽しみであります。昨年の「ふくしま駅伝」では町の部2位という輝かしい成績を収めた本町でも、東京オリンピック・パラリンピックの成功に向け、全町民で応援したいと思えます。その為にも新型コロナウイルスが一刻も早く収束することを願うばかりであります。

昨年は新型コロナウイルス感染対策に追われた一年でありましたが、今年はそれを克服し、良い一年でありますこと、そして町民のみなさまのご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、町議会を代表して新年のあいさつとさせていただきます。

矢吹町議会議長 角田 秀明

議長年頭あいさつ



第423回 矢吹町議会臨時会 11月26日

議案内容 期末手当について県の特別職の引き下げの方向性及び県人事委員会勧告に基づく一般職の期末手当改正案を踏まえ、条例の一部を改正する。

議案第44号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	全議員賛成可決
議案第45号	矢吹町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	全議員賛成可決
議案第46号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	全議員賛成可決

【改正内容】〈期末手当0.05月分減額〉

	年度	6月	12月	合計	減額詳細
44号 45号	2年度	1.700月	1.700月(改正前) 1.650月(改正後)	3.40月(改正前) 3.35月(改正後)	議員(一般) △13,800円 三役平均 △39,388円
	3年度	1.675月	1.675月	3.35月	

【改正内容】〈期末手当0.05月分減額〉

	年度	6月	12月	合計	減額詳細
46号	2年度	1.275月	1.275月(改正前) 1.225月(改正後)	2.550月(改正前) 2.500月(改正後)	職員(一般) △16,706円 ※再任用職員除く
	3年度	1.250月	1.250月	2.500月	

第424回矢吹町議会定例会提出議案

議案	第47号	矢吹町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案	第48号	矢吹町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
議案	第49号	矢吹町放課後児童クラブの設置及び運営に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案	第50号	矢吹町特定教育・保健施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
議案	第51号	矢吹町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
議案	第52号	矢吹町立幼稚園預かり保育条例の一部を改正する条例	可決
議案	第53号	矢吹町集会施設条例の一部を改正する条例	可決
議案	第54号	矢吹町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決
議案	第55号	矢吹町都市公園条例の一部を改正する条例	可決
議案	第56号	矢吹町議会議員及び矢吹町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例	可決
議案	第57号	矢吹町債権管理条例	撤回
議案	第58号	矢吹町税外収入金の督促及び滞納処分に関する条例等の一部を改正する条例	可決
議案	第59号	矢吹町屋内外運動場の指定管理者の指定について	可決
議案	第60号	矢吹町保健福祉センターの指定管理者の指定について	可決
議案	第61号	令和2年度矢吹町一般会計補正予算(第5号)	可決
議案	第62号	令和2年度矢吹町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決
議案	第63号	令和2年度矢吹町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案	第64号	令和2年度矢吹町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案	第65号	令和2年度矢吹町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議案	第66号	令和2年度矢吹町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
議案	第67号	令和2年度矢吹町水道事業会計補正予算(第2号)	可決
承認	第15号	議案の撤回について	承認
同意	第17号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
同意	第18号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
発議	第9号	国の制度として「20人程度学級」を展望した少人数学級の実現を要望する意見書(案)	可決

第424回 令和2年 12月定例会



定例会のあらまし

第424回12月定例会は、12月4日より12月15日までの12日間の会期で開催されました。

町長より提出された令和2年度矢吹町一般会計補正予算及び特別会計補正予算6件等を含む20議案、承認1件、陳情3件、発議1件、請願1件を審議しました。また、教育委員会委員の任命につき2件の同意を致しました。12月7日と8日の一般質問では8名の議員が登壇し、町政について

様々な質問を致しました。

さらに、総務教育・産業民生の両常任委員会及び第一・第二予算特別委員会に議案が付託され、関係各課の説明を受け審議し、12月15日の本会議において各委員会の報告を受け審議した結果、陳情8号については継続審査すべきものと決しましたが、それ以外の議案、請願、陳情及び発議等は原案通り全議員異議なく可決、採択及び同意されました。

承認15号

令和2年12月4日に提出した議案第57号、矢吹町債権管理条例については、コロナ禍の現況を鑑み取り下げたので、矢吹町議会議規則第20条第1項の規定により議会の承認を求めらる。

定例会のあらまし

令和2年度 12月補正予算

(単位：千円)

	会計区分	補正前の額	補正額	計
議案第61号	一般会計	10,968,854	△49,045	10,919,809
議案第62号	国民健康保険特別会計	1,759,309	△933	1,758,376
議案第63号	公共下水道事業特別会計	578,818	93,037	671,855
議案第64号	農業集落排水事業特別会計	311,946	△520	311,426
議案第65号	介護保険特別会計	1,453,750	100,730	1,554,480
議案第66号	後期高齢者医療特別会計	189,364	474	189,838

(単位：千円)

議案第67号		会計区分	補正前の額	補正額	計
水道事業会計	収益的	収入	408,752	△1,640	407,112
		支出	439,703	△1,803	437,900
		補てん財源	30,951	△163	30,788
	資本的	収入	134,209	△46,000	88,209
		支出	224,052	△48,500	175,552
		補てん財源	89,843	△2,500	87,343

総務教育 常任委員会

議案第48号

矢吹町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

議案第49号

矢吹町放課後児童クラブの設置及び運営に関する条例の一部を改正する条例

議案第50号

矢吹町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

議案第51号

矢吹町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

議案第52号

矢吹町立幼稚園預かり保育条例の一部を改正する条例

議案第54号

矢吹町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

議案第56号

矢吹町議会議員及び矢吹町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

議案第58号

矢吹町税外収入金の督促及び滞納処分に関する条例等の一部を改正する条例

議案第59号

矢吹町屋内外運動場の指定管理者の指定について

請願第3号

国の制度として『20人程度学級』を展望した少人数学級の実現を要望する意見書の送付を求める請願書

審査の結果、付託案件である議案9件、請願1件において、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定した。

陳情第8号
日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書提出に関する陳情書

陳情第8号

熊田委員から、本件は国政問題であり慎重に対応すべきことから、継続審査とすべき意見がある一方、青山委員から、過去に同等の内容で議決された経過があり賛成。富永委員から唯一被害を被った日本人の一人として賛成する意見があり、挙手採決の結果、継続審査にすべきものと決しました。

産業民生 常任委員会

議案第47号

矢吹町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

議案第53号

矢吹町集会施設条例の一部を改正する条例

議案第55号

矢吹町都市公園条例の一部を改正する条例

議案第60号

矢吹町保健福祉センターの指定管理者の指定について

陳情第6号

令和2年度西原地区内の現道舗装について

陳情第7号

生活道路の舗装に関する陳情

審査の結果、付託議

案4件、陳情2件すべてにおいて、現地調査及び審査の結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定した。



西原地区現地調査



総務教育常任委員会

定例会のあらまし

補正予算の概要

議案第61号 令和2年度矢吹町一般会計補正予算（第5号）

○一般会計補正額 △4,904万円

主な補正財源（歳入）

・国庫支出金 （災害廃棄物処理事業費確定等）	△6,997万円
・県支出金	998万円
・繰入金	2,613万円
・諸収入	△871万円
・町債	△620万円

◎予算総額 109億1,980万円

主な内容（歳出）

・災害廃棄物処理事業完了による減	△1億6,250万円
・コロナ禍による事業中止等（15事業） （フロンティア祭り、中学生海外派遣、地域ブランド化など）	△5,648万円
・人件費の精査	△1,702万円
・保育園業務運営事業（広域入所者数の増ほか）	4,992万円
・障がい者自立支援費（扶助費）の精査	3,759万円
・主要町道道路整備事業（4路線）	3,199万円
・健康センター指定管理者への減収補填金	1,660万円

議案第62号 令和2年度矢吹町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

○補正額：歳入歳出 △93万円

・理由 人件費の精査、ヘルスアップ事業中止等による減額

議案第63号 令和2年度矢吹町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

○補正額：歳入歳出 9,303万円

・理由 人件費の精査、公共下水道整備事業（滝八幡、一本木）

議案第64号 令和2年度矢吹町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

○補正額：歳入歳出 △52万円

・理由 人件費の精査

議案第65号 令和2年度矢吹町介護保険特別会計補正予算（第1号）

○補正額：歳入歳出 1億73万円

・理由 人件費の精査、施設介護サービス給付費、基金積立金

議案第66号 令和2年度矢吹町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

○補正額：歳入歳出 47万円

・理由 人件費の精査、広域連合納付、電算処理システム改修

議案第67号 令和2年度矢吹町水道事業会計補正予算（第2号）

○補正額：収益的収入 △164万円
収益的支出 △180万円

・理由 人件費の精査、配水設備費の減

主な質疑内容

第一予算特別委員会

一般会計補正予算

《企画総務課》

問 公共施設等整備基金繰入金の内訳は。

答 町道維持管理事業759万円、主要町道道路整備事業960万円、排水路整備事業50万円、公共下水道整備事業409万円、幼稚園施設改修事業56万円の5事業。

問 会計年度任用職員と臨時的任用職員の違いは。

答 会計年度任用職員はこれまでの一般職非常勤職員。臨時的任用職員は育児休業等、職員に欠員が出た場合のこれまでの事務補助職員。

《まちづくり推進課》

問 防災マップはいつ頃配布する予定か。

答 令和3年4月に阿武隈川浸水エリア情報

が配信されるため、その後の夏頃までには全戸配布したい。

《税務課》

問 申告相談のWeb予約ができない方にはどのように対応するか。

答 電話での予約受付を考えている。予約なしで当日来庁された方については柔軟に対応したい。

《保健福祉課》

問 PCR検査の希望者が増えた場合の拡充等の対応は。

答 町内では会田病院で検査をお願いする予定だが多くの件数を実施できる状況にない。新たな施設入所者などの限定的な検査実施を検討している。

問 あゆり温泉の減収補填金の人件費150万円の見積りが割高ではないか。

答 10月以降については8月の金額を参考に

第3予算特別委員会

特別会計補正予算

《保健福祉課》

問 後期高齢者医療特別会計で総務管理費の給料が△177万円と減額となっている理由は。

答 人件費は総務課で一括して特別会計も管理しており、当初予算を例年この時期に調整し補正している。人数はかわらないが給与の高い職員から若い職員に変更となったため。

《都市整備課》

問 下水道工事で北町セブンから矢吹病院までの区間の距離とメートル当たりの単価は。

答 延長280メートル、全延長は700メートル、単価はメートル当たりおおむね15万円程度。

内訳は。

答 八幡町善郷内線の町道整備工事が400万円、松倉大池線の道路舗装工事が960万円、田内2号線の橋りょう長寿命化修繕工事550万円。

《教育振興課》

問 コロナ感染症の影響でALTが1名減の状態だが予算上の対応は。

答 県から来ないという回答はなかったため予算上はそのままにしてあったが、令和3年1月に来るという連絡があった。必要により3月補正で対応する。

《子育て支援課》

問 中畑小学校児童クラブにおいての施設改修工事はどのようなものか。

答 玄関先正面の広いスペースがあり、その一番奥に間仕切りをして教室として利用する工事。

積算し3月に過不足の調整をしたい。

問 補償や補填について一般企業では7割8割とするとところもあるがどのような方針か。

答 現時点では不足分そのものの補填で考えている。

問 指定管理者が提出する収支計画は参考にしないのか。

答 あくまで実績とこれまでの収入の差という観点で積算している。

《産業振興課》

問 有害鳥獣対策協議会補助金のくくり戻はどのようなもので何基を調達予定か。

答 くくり戻は動物が通った時に足を縛って捕まえるものでイノシシを対象とし、5基を調達予定。

《都市整備課》

問 歳出にある土木費社会資本整備総合交付金事業の工事請負費の

町政を問う 一般質問 8人登壇

芳賀 慎也 p8

1. 老朽化が進む公共施設等のトイレ改修計画は
2. GIGAスクール構想の実現は

関根 貴将 p9

1. スマート自治体への取り組みについて
2. 大池公園のパークマネジメントについて

富永 創造 p10

1. ふるさと納税をどうとらえているのか
2. おもいやり支援体制はできているのか

藤井 源喜 p11

1. 「マイナンバーカード」取得向上の取り組みは!
2. 学校給食費の公会計化について

加藤 宏樹 p12

1. 中央公民館は危険家屋であり取壊しが前提では
2. あゆり温泉・プール等のアンケートは偏っていないか

安井 敬博 p13

1. 地域エネルギー会社の設立で、域外流出を抑え町民所得の向上を
2. ウィズ・アフターコロナにおける移住促進を

青山 英樹 p14

1. 「財政」の丁寧かつ分かり易く説明を
2. あゆり温泉・プール財政補てんの妥当性は

三村 正一 p15

1. 保育園待機児童の解消は?
2. 乗合タクシーの実施の考えは?



はが しんや 議員
芳賀 慎也

老朽化が進む公共施設等の トイレ改修計画は

答 多様なニーズを踏まえ推進を図る

問 町内の各公共施設においてトイレ設備の老朽化が進んでおり、老朽化対策や高齢者の方などに配慮した便器の洋式化が求められている。また、衛生面の向上はもとより、設備面や安全面の向上も必要であり、車イスの方や障がい者の方も安心して利用できる『みんなに優しいトイレづくり』が必要であると考え、計画はあるか。

答 町長 矢吹町公共施設等総合管理計画において、施設の改修・更新について多様なニーズや施設の状態を踏まえながら、誰もが利用しやすい施設となるよう計画的に取り組み、バリアフリー化の推進を図っている。

問 本町におけるオストメイト対応トイレ、車イス多目的トイレの設置状況を伺う。

答 町長 オストメイト対応トイレは未来く

町政を問う（一般質問）

るやぶぎ及び複合施設コソットの2施設、多目的トイレは矢吹駅や保健福祉センターなど15の施設に設置してある。

問 役場本庁舎に車イス対応の多目的トイレが無いことが不便であるとの声があるが、まずは矢吹町の窓口である役場本庁舎1階を最初に多目的トイレへの改修が必要であると考え、計画はあるか。

答 町長 障がい者福祉を重視し、早期実現に向け、計画を立てて整備していく。



GIGAスクール構想の実現は

答 早期実現に向け体制づくりを進める

問 文部科学省が提唱するGIGAスクール構想は、児童生徒向けに一人一台の学習者用PCと高速ネットワーク環境を一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させることを目標としたものである。本町においても第6次矢吹町まちづくり総合計画後期基本計画に掲げられている教育環境の整備において、GIGAスクール構想に基づくICTを活用した授業を実施するための環境整備が課題となっているが、現在の進捗状況は。

問 教育長 本町でのICT環境整備計画においては、各小・中学校の無線LAN環境の整備、児童・生徒全員分のタブレット端末約1350台の導入を進めており、各学校への配置は令和3年3月を予定している。

問 新型コロナウイルス感染症拡大により、本年度は長期休校が続いたが、子どもたちの学習環境を失わないために、自宅に居ても遠隔で授業が受けられるようオンライン授業の必要性が急速に高まっている。今後、学校と各家庭間でオンライン授業を実施するにあたり、ネット環境が整っていないご家庭とのオンライン授業はどの様



ICTを活用した授業風景

に対応していくのか。

答 教育長 現在導入予定のタブレット端末のうち、約200台をインターネット通信可能なLTEモデル使用で整備する予定である。

スマート自治体への

取り組みについて

答 ICT化の推進に積極的に

取り組んでまいります



問 今年9月に菅内閣が発足し、注目を集めた政策の一つが、デジタル庁の設置でありました。本町においてもICT化の推進等による持続可能な行財政システムの構築が必要不可欠となり、スマート自治体への取り組みが喫緊の課題となると思うが、現時点でICT推進計画などの構想はあるのかお尋ね致します。

答 町長 デジタル社会の実現に向け、国の動向を注視しながら調

査検討してまいります。

問 他市町村において「ICT推進課」が設置されている自治体もあるが、本町は情報技術に特化した専門の課を設置するお考えはありますか？

答 町長 デジタル化が一気に加速される事が予想され、専門部署を創設することを視野に入れ、デジタル化推進に力を入れたいと考えている。

問 スマート自治体への取り組みには、法令や規則に詳しく、実務経験が豊富であり、尚且つ情報通信技術の専門知識を持つ職員の育成も大切であると思うが、町の見解は？

答 町長 これまでの情報通信技術の知識だけでは太刀打ち出来ないのではと危惧しており、職員の専門性を高めていく事が必要であると認識しております。

大池公園のパークマネジメントについて

答 地域の活性化に貢献出来るよう調査・検討を深める

問 大池公園は指定管理者制度による管理運営であるが、町民からの意見や要望などを踏まえ、どのような問題があるかお示しく下さい。

答 町長 特に相談が多いのは、ゴミに関する問題であり、利用者が気持ちよく利用していただくためにも環境の整備に努める。

問 平成29年に都市公園法が改正され様々な再活性化案が示されました。公園における民間資金を活用した制度もございますが、このような制度を活用するお考えはあるか。

答 都市計画課長 今後非常に重要な視点であると考えており、新たに公園整備計画を作成し官民協働であったり、様々な意見を取り入れ十分検討し進めてまいります。

問 現在、国道4号線の4車線化、拡幅計画

が進行中です。それに伴い、4号線から大池公園へのアクセスを良くする道路を整備、または新たに造れば、大池を中心とした経済圏も出来、町の財政や雇用創出などにも貢献出来るのではないかと思います。そのような長期的な展望、計画などはないかお伺いします。

答 町長 地域の活性化につながる重要な資源であると認識しており、地域の将来的な活性化に貢献出来るよう検討を深めてまいります。





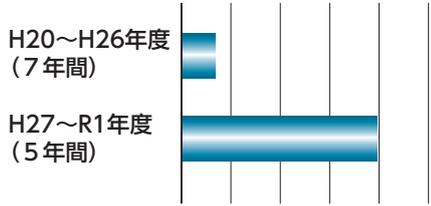
とみなが 富永 とうぞう 創造 議員

ふるさと納税をどうとらえているのか

答 地域活性化を実現するための重要なツール

「ふるさとチョイス」導入前と後の寄付額比較(矢吹町の実績)

H27~R1年度(5年間)	80,172,000円
H20~H26年度(7年間)	7,754,000円



※ふるさとチョイスとは、全国1788自治体、30万点以上の地域の名産品等が並ぶ、ふるさと納税総合サイト

問 ふるさと納税をどうとらえているのか。

答 町長 寄付を通じて財源の確保だけでなく、町の魅力を伝え、地域外の人々や関心を呼び込む。返礼品提供事業者の収益につなげ、地域活性化を実現すると認識しています。

問 新米の季節なのに品切れになっているのはなぜか。

答 町長 現在、提供事業者と新米価格や提供数量について調整中で、準備次第申し込み開始予定です。おいしい新米を早くお届けでき

きるよう調整してまいります。

問 千万から億円への戦略的計画はあるか。

答 町長 64品の返礼品がありますが、十分な種類や数量が提供できているとはいえない状況にあり、町内事業者や生産者の方々の協力をいただき、種類や数量の確保に努めます。また、本町に来ていただけるゴルフ場の利用券や温泉旅館宿泊券などのような体験型返礼品の検討など、インパクトのある戦略で、寄付額の増加に努めます。

町政を問う(一般質問)

おもいやり支援体制はできているのか

答 「心のバリアフリー」を推進する

問 庁舎に高齢者や障がい者のニーズとしての車いす利用者専用トイレ設置を早期に実現できないか。

答 町長 昨年度から車いすの方でも利用可能な多目的トイレの設置について検討しましたが、現在の構造では、大規模な改修工事が必要となり、専用トイレの設置は構造上難しい状況ではあるが、町民の皆様の意見に配慮しながら、庁舎の状態や設備費用等を踏まえ、どの様な対策が可能なのか検討し早期実現に向けて調査する。

問 高齢者や障がい者の納税申告手続きを本人の希望により一階でもできないか。

答 町長 これまでも



ココット

2階に上がることができない場合、1階の窓口カウンターで申告相談を行っており、今年度からは、広報やびきや役場内の掲示による周知を検討して、安心して申告相談できるよう最大の配慮をします。

問 本庁舎や複合施設『KOKOTTO』を利用する高齢者や障がい者に優しく手を差し伸べる、人によるおもいやり支援体制はできているのか。

答 町長 利用されている全ての方に、お声がけやお手伝いができるように、思いやりの心を育てる「心のバリアフリー」をこれまで以上に推進し、人的支援によるサポート体制の検討を深めます。

「マイナンバーカード」 取得向上の取り組みは！

答 窓口での声掛け、企業訪問等で普及に努める

問 政府は住民サービスの向上を図るため証明書コンビニ交付やマイナンバー付与などを実施しカード取得に向け取り組みを行っているが、町の取得状況と独自の特典等の取り組みはどうか。

答 政府は住民サービスの向上を図るため証明書コンビニ交付やマイナンバー付与などを実施しカード取得に向け取り組みを行っているが、町の取得状況と独自の特典等の取り組みはどうか。

問 カード取得のために、個人情報もれること、カードを紛失した場合の心配などが取得の妨げになっていると考えるが、対策はあるか。

答 カード取得のために、個人情報もれること、カードを紛失した場合の心配などが取得の妨げになっていると考えるが、対策はあるか。

問 町長 交付率向上に向け、町内企業や中央公民館での社会教育活動等に訪問し普及推進を行ってきた。交付率は令和2年11月1日現在で16・5%、交付人数は2867人と

続きで来庁された方等に声掛けをし、コロナの状況により企業訪問等を再開しカードの普及促進に努める。

町独自の特典は実施していないが近隣市町村の動向を注視しながら進めていく。

機関がもつ個人情報には、機関ごとに分散して管理することで情報漏洩の連鎖を防ぎマイナンバーでの問い合わせではないため情報は引き出せないようになっている。

万一、カードを紛失した場合には、24時間365日一時利用停止を受け付けている。町民の皆様がマイナンバーカードを作ることにより不安を抱くことがないように周知を進めている。

町長 それぞれの



マイナンバーカード

学校給食費の公会計化について

答 無償化を優先的に検討する

問 11月の新聞報道によると、「給食費学校徴収が7割」「進まぬ自治体移管、教員負担重く」とある。文科省では、学校給食費等の徴収管理について、教師の本来的な業務ではなく、地方公共団体が担っていくべきとしている。そのことから、公会計化を進めていくべきだと考えるが、町の考えはどうか。

答 教育長 現在、学校給食運営に係る調理員の委託費や給食施設の維持などに係る経費は町が負担し、食材費に相当する部分を保護者の皆様に学校給食費として負担いただいている。公会計化については、大きなメリットがあると考え検討したが、5校分の学校給食費を管理するためには専用のシステム導入の経費や管理人員の確保等が課題である。

学校給食運営事業に

については、後期基本計画の重点プロジェクトの一つであり、教育委員会としては学校給食費の無償化を優先的に検討している。

問 諸経費についての公会計化は検討されているのか。

答 教育長 学校給食費以外の教材費、修学旅行費等の学校徴収金についても学校の負担軽減を図る取り組みの推進についての適切な対応を、文部科学省より求められている。

修学旅行費は、保護者と旅行者の間で支払いや徴収を行う方法をとっており、学校の負担が軽減されている。

その他諸経費については、教育委員会としては教職員の負担を軽減するためにどのような方法が有効か、学校と話し合いながら検討していく。



加藤 宏樹 議員

中央公民館は危険家屋であり 取壊しが前提では

答 長寿命化計画の中で検討していく

問 そもそも複合施設を造るときの最大の理由は何だったのか。

答 教育振興課長 中央公民館は、老朽化が大変進んでおります。

総合管理計画で、統合、廃止があり再利用するものと、できないものについては廃止する。

問 長寿命化計画で残すか残さないか、これから検討に入る。それはちよっとおかしな

いか。
答 教育振興課長 廃止を前提として、教育委員会単独では判断し切れないと認識している。

長寿命化計画をつくることによって、改修するにしろ、補助金あるいは起債の活用が見込まれる中で検討していく。

問 改修の可能性があるというところですが、町民の安全のため複合施設を造って、中央公

町政を問う（一般質問）

あゆり温泉・プール等の

アンケートは偏っていないか

答 様々な声を取っていくことについては検討させていただきたい

民館を廃止だったのではないのか。

答 教育振興課長 長寿命化計画の中で、来年度以降、壊すのか再利用するか、教育委員会独自で判断することは、町民の皆さんの財産でありますので、丁寧に取扱いをしたい。

問 壊すにしてもアスベスト除去に複数年かかるのと29年6月に答弁をいただいております。

取壊しの概算費用も求めておいてよかったですのではないかと思う

答 教育振興課長 早期に改築するにしろ、解体にするにしろ、概算の費用でも算出しておいたほうがよいというご指摘であります。そのとおりだと思っております。

問 利用者、行政区、民生委員、老人クラブ

年齢層を考えると、上の方ばかりなんです。20代、30代、40代、10代、そういった方の回答はありましたか。

答 保健福祉課長 割合的には、60代、70代、80代で、こちらで大体8割ぐらいの方が占めている状況です。

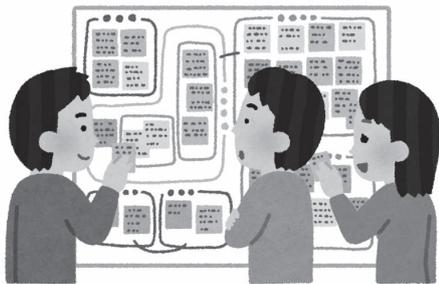
問 偏りがちになると

いう予想は誰でもつくと思えます。もう少し広くアンケートを取ると数字が上がらないか。この数字が本当にあまり温泉やプールが求められているのか結果とは程遠いものではないのか。

答 町長 やはり広い層に聞いていくことが

必要なのかなと思っいる。実際にアンケートを集めて、一連のプロセスの中で、かなりの負担になるので、そこは課題があると思えます。

目安箱であるとか、お気づきの点について様々な声を取っていくことについては、ぜひ検討させていただきたい。



その他の質問事項

- ・交通弱者への手立て
- ・あゆり温泉の擁壁の改修や長寿命化
- ・町民意見聴集のあり方
- ・企業誘致促進
- ・新田園都市構想



やすい たかひろ
安井 敬博 議員

地域エネルギー会社の設立で、域外流出を抑え町民所得の向上を

答 大変重要な指摘でありますので地域内循環が図られるよう考える

問 政府の地域経済循環分析ツールによると、本町のエネルギー代金は17億円（域内総生産の2・6%）が域外へ流出している。町と住民出資によるエネルギー会社を設立し、エネルギーの地産地消をすることで、エネルギー代金の流出を抑え、町民の所得向上や町の財源確保に繋げる考えはないか。

答 町長 本町で実践可能かどうか十分に調

査を行う必要がありませんが、地域経済の循環は地域経済の総量を大きくする、そして産業振興と、地元企業育成、町民所得の向上など、本町の財政基盤の強化に直結するという点で特に注力したいと考えておりますので、今後どのような取り組みが有効なのかを含め、鋭意調査検討して参ります。

2015年版
当町GRP域内生産664億円を生み出している
夜間人口1人当たり所得440万円と全国平均418万円よりやや高い水準
エネルギー代金では17億円GRPにしますと2.6%が域外へ流出
民間消費の流出も約8億円
※エネルギー代金とは、低炭素政策によって地域経済循環構造を改善するための指標

ウィズ・アフターコロナにおける移住促進を

答 タウンプロモーション事業を継続し移住者の増加を図っていく

問 新型コロナ禍でテレワークやリモートワーク等、オフィスから離れた場所で働くことが可能となってきたおり、大都市圏での人口集中による行政サービスの不足や通勤によるストレスから離れ、地方移住や2地域居住を決定する人が増えることから、全国の自治体で様々な移住促進のための施策を打ち出してきているが、本町ではどう考えているのか。

答 町長 今回のコロナ禍を契機に、テレワークやオンライン会議等が本格的に導入さ



れたことにより、東京一極集中を見直し、地方に拠点を移す企業や人々が増加しており、地方移住の動きは今後加速していくものと予想しています。交通の便がよく、首都圏に2時間程度でいける本町にとって、これまでに以上に移住者や関係人口を増やすチャンスと捉え、これまでのタウンプロモーション事業を継続し、町の魅力を発信していきます。

その他の質問事項
・データを活用した行政課題の解決について



あおやま ひでき
青山 英樹 議員

「財政」の丁寧かつ分かり易く説明を

答 町民の皆様に、よりわかりやすく、
理解いただけるよう改善を図ってまいります

問 財政は、分かり易い情報公開と説明責任を果たすことから、財務諸表4表が公表されている。しかし、数字一色で示され、中身は全く分からない。町広報では町債に関し、「町は無理なく返せる範囲の金額を借りている」「施設を将来使う世代にも建設費を負担してもらおうことができ」と説明するが、町民からは不快の声が聞かれる。丁寧かつ分かり易い表記への認識を尋ねる。

答 町長 公会計の補完で財務諸表4表があるがそこがうまくつながっていない。十分に改善して出していく。街灯の設置や球切れ、道路の整備など町民要望の実現には相当潤沢な財源が必要であるがそのレベルには達していないと思う。町としての取組む方向、ベク

トルは良いが、水準はまだまだの状態であり、水準と方向性の問題の書き方が誤解を招き、皆さんと話しながら是正していきたい。

詳しくは、町ホームページをご覧ください。

■町ホームページ：<http://www.town.yabuki.fukushima.jp/>

- ①PC：町政情報→財政→普通会計財務4表の公表について
- ②スマホ：メニュー→町政情報→財政→普通会計財務4表の公表について

町政を問う（一般質問）

あゆり温泉・プール財政補てんの妥当性は？

答 健康センターの管理に関する「基本協定書」に基づく

「基本協定書」に基づく

問 あゆり温泉、プールの休業・一部制限での営業再開に、財政補てんの根拠を尋ねる。

この解釈が通常でないのか。

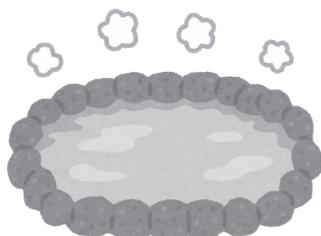
答 保健福祉課長 不可抗力で事業履行不能を根拠とした。

問 町長 指定管理者との協定書第28条「責任分担表の不可抗力に伴う、施設、設備の修復による経費の増加及び事業履行不能」に該当すると判断。この場合、負担者は「町」と規定。

問 公金の使い方について、町外の利用が50%あり町民利用が何%あるのか、納税者である町民の合意は得られるものなのか問う。

答 保健福祉課長 指定管理者の自己責任、範疇から外れていることにご理解いただきたい。

問 「不可抗力に伴う」ここで句点が入っている。文言読み込みの判断となるが、条文「施設、設備の修復による経費の増加及び事業履行不能」の「及び」は、並列列挙で「施設、設備の修復による事業履行不能」



保育園待機児童の解消は？

答 現状では概ね解消

問 令和2年当初34名の待機者がいたが、令和3年度の申込状況と解消対策について

答 町長 待機児童の解消、子育て支援の充実は、子育て世代の呼び込み、定住人口の増加につながり、持続可能なまちづくりの為に重要な取り組みであり、できる限りの対策を講じている。



問 子育て支援課長 0歳から2歳までの現在の申し込みが167人、来年度受け入れ可能人数173人です。で、概ね入所可能と考

問 保育園の民営化によって、毎年5千万円以上の効果が出ている。0歳児から2歳児までの170名の保育料を無償化した場合、

3200万円で出来るなら、全額でなくとも、ある程度の負担軽減で子育て支援をする考えはあるか。

答 教育長 3200万円無償化にかかる見込みであるが、5590万円の益が出ていると考えると今後、施策の一つとして検討する。

問 年度当初46名いた善郷小、矢吹小の放課後児童クラブの待機児童の解消対策は。

答 教育長 4月より、中畑公民館に児童クラブを開設した。来年度より善郷小・矢吹小に1クラス増設し、待機児童の解消を図ります。

乗合タクシーの実施の考えは？

答 様々な交通手段を検討する

問 人にやさしい住み良い町づくりを進める上で、車を持たない高齢者の病院通いや買い物等で、公共交通事業が必要と思われるが対応について伺う。

答 町長 現在は、行き活きタクシー利用料金助成事業で、75才以上で免許証のない方を対象に月4回700円を超えた分を助成している。

問 行き活きタクシーの利用状況は。

答 町長 登録者245名、月平均利用者65件、一人当たり助成額月平均713円。予算は104万計上、10月末実績約35万円となっている。

問 対象者2400名に対し、登録者245名、月平均65件の利用では、非常に少ない。

使いづらいため利用が少ないのではないかと。思う。

答 まちづくり推進課長 年齢制限や自己負担額等検討、協議する。

問 巡回バスや近隣町村で実施している乗合タクシー等の検討について伺う。

答 まちづくり推進課長 乗合タクシー、ワンボックスタクシー、巡回バス等の交通手段等を検討し、令和4年度実証実験をしたい。



みむら まさいち 議員 三村 正一

総務教育常任委員会

教育を通じた地域創生について

ESDのこれまでの取り組みと効果、現状について

- ・調査に当たった委員
- 委員長 藤井 源喜
- 副委員長 富永 創造
- 委員 角田 秀明
- 委員 熊田 宏
- 委員 青山 英樹
- 委員 堀井 成人
- 委員 関根 貴将
- 研修地 宮城県気仙沼市教育委員会

・令和2年11月12日～13日

・研修内容 「教育を通じた地域創生」持続可能な社会の創り手を育む気仙沼ESD」

ESDとは、「持続可能な開発のための教育」と訳されています。今世界には環境、

貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。ESDとは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そして、それによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。つまり、ESDは持続可能な社会づくりの担い手を育む教育で、その学習及び活動が持続可能な開発目標(SDGs)につながっていくということでもあります。

説明の中で「特別なことをすることではなく、それぞれの活動等にESDやSDGsを意識した取り組みを継

続的に行うことが大事である。」と言言葉が印象に残りました。当町でも児童生徒、教師、地域住民それぞれが出来ることから継続的に取り組んでいくことが重要であると感じました。



宮城県気仙沼市

産業民生常任委員会



岩手県紫波町



茨城県守谷市

オガールプロジェクトについての研修

- ・調査に当たった委員
- 委員長 三村 正一
- 委員 鈴木 隆司
- 委員 加藤 宏樹
- 委員 鈴木 浩一
- 委員 芳賀 慎也
- 委員 安井 敬博
- 副委員長 高久 美秋 (欠席)
- 研修地 岩手県紫波町
- ・令和2年11月10日～11日
- ・研修内容 「オガールプロジェクトにつ

いて

紫波オガールプラザは、JR東北本線紫波中央駅の西口に位置し、平成24年6月にオープン、約10ヘクタールの土地に役場庁舎や民間複合施設はもとより、バレーボール専用体育館や保育園、更には分譲住宅地、これら施設一帯を「オガールエリア」と称しています。

同社の事業推進に当たって特徴的なものは、「パブリック、プ

ライベイト、パートナーシップ」、いわゆる「PPP」と呼ばれる手法の採用である。「まちづくりとは、不動産の価値の向上である」との理念のもと、想定利回りの実現可能な工事価格設定、着工時入居率100%といった視点から設計する「逆算方式」を採用しており、リスクの少ない安定事業として評価される不動産開発事業を展開している。

- (1) 議会機能強化改革
- (2) ICTへの取り組み
状況について

・調査に当たった委員

- 委員長 青山 英樹
- 副委員長 加藤 宏樹
- 委員 熊田 宏
- 委員 鈴木 隆司
- 委員 三村 正一
- 委員 藤井 源喜
- 令和2年9月30日～
10月1日

・研修地 茨城県守谷市

事業評価については、令和元年度の総括で「事業評価は7年目を迎え、原点に立ち返り、事業選定や評価方法を改めて見直すべき時期が来ている」等の意見を踏まえ、本年度は事業評価を行っておりません。市民に十分に周知されていない、かける時間に見合った効果が薄くコストパフォーマンスが低いなどの様々な課題等を整

理、改めて事業評価の在り方について方向性を決めたい旨の話がありました。タブレット導入については、平成26年11月に導入を開始しました。タブレットは全議員に貸与され、議会活動と議員活動の全てに使用でき、それまで紙ベースで配布されていた議案書等は、全てデータ化され、いつでも閲覧できる状態になっています。議会関係及び執行部の資料提出の迅速化が図られること、議員間の迅速な情報共有ができること、これまでの通知がメールで行えること、年間スケジュール管理ができるなど非常にメリットがあります。今回先進的に取り組んでいる事例を調査することができ、大変有意義なものでありました。

議会だより 読者の声

- ①表紙のどこかに【やぶきじ君】を。矢吹っぽさが増すと思う。
- ②一般会計の金額表示を〇〇億円と認識しやすく。
- ③もう少し字や表の余白がほしい。
- ④難しい用語には説明文がほしい。
- ⑤袖ヶ館やツツジロード等には具体的な地名を入れる。
- ⑥質問者、回答者（一般質問）の部分に【問】と【答】表示があれば。
- ⑦ぱらぱらから（全体を）読むようになる。
- ⑧子供にも興味を持てるものを一つ。
- ⑨議会だよりのターゲットが「学がある方」
「昔から矢吹に住んでいる人」の印象がある。
- ⑩編集後記者の個性が垣間見える。好感。

全体評価	A	B	C	D	E
ポイント	3	11	7	4	0

編集委員より

189号議会だよりの評価（好感度、読みやすさ、分かりやすさ）はB。モニターさんの意見を活かして、議会の役割や活動を読者に伝えられるように、190号の編集をしました。

人事

教育委員会委員

(議員全員が賛成同意する 任期4年)



〔新任〕 星 直樹 氏
(八幡町)



〔新任〕 佐藤 光子 氏
(善郷内)

発行／福島県矢吹町議会議員 角田 秀明
編集／議会広報編集委員会 昭和52年6月1日創刊
印刷／矢吹タイムス印刷

次回議会のご案内

3月定例会

3月12日(金) 午後1時30分開会

一般質問

3月15日(月)・16日(火)

午前10時予定



●令和2年12月議会(第423回・424回)
の傍聴者は計13名でした。
ありがとうございました。

議会傍聴はどなたでもできます。

申込みは不要です。直接役場3階議場へおいでください。

詳しくは町議会事務局にお問い合わせください。

TEL : 0248-42-2118

E-Mail : gikai@town.yabuki.fukushima.jp

町ホームページから



日程
(議案・一般質問のあらまし)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年は、一年生議員として、初めての議会、予算委員会など初めてのことばかり、少しずつではありませんが、町民の皆様の付託を受けた以上、町民のため新人一同頑張つてまいります。

又、昨年より続くコロナウイルスに対し、町当局はもろんのこと議会としても協力しながら対策を取っていきたいと思います。

町民皆様の意見を聞きながら、今後の議会活動を運営してまいります。

本年も議員一同よろしくお願ひ申し上げます。

(文責 鈴木浩一)

議会広報編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 富永 創造 |
| 副委員長 | 関根 貴将 |
| 委員 | 藤井 源喜 |
| 委員 | 鈴木 浩一 |
| 委員 | 高久 美秋 |
| 委員 | 芳賀 慎也 |

やぶき議会だより

令和3年
190号

〒969-0296 福島県西白河郡矢吹町一本木101
TEL(0248)42-2118 FAX(0248)42-2587
Eメール: gikai@town.yabuki.fukushima.jp